

明智 光秀」について

令和2年度・NHK大河ドラマ「麒麟がくる」

明智 光秀

明智氏＝清和源氏・土岐氏の支流氏族。

- ・発祥地は、美濃国明知(現・恵那市明智町) → 土岐宗家 5代頼遠が美濃の長森城(現・岐阜市切通6丁目)へ移転したことに伴い、宗家は明智荘(現・可児市)へ移転。
- ・戦国時代に、斎藤道三が土岐氏(頼芸)を降し美濃国を掌握すると、その傘下に入り生き残りを図る。 → 道三・義龍父子の内紛で道三に味方したため攻め滅ぼされるが、光秀は落ち延びる。
- ・光秀は、越前の朝倉氏に仕えたのち、朝倉氏に寄宿していた足利義秋(のちの義昭)を織田信長に仲介し、細川藤孝とともに征夷大將軍として擁立する。
- ・光秀は信長の統一事業に活躍し、坂本城主・丹波亀山(亀岡)城主・福知山城主に。
(信長が義昭を追放した後は、信長のみ仕える)
- ・1582年、光秀は”本能寺の変”で信長を討つも、”山崎の戦い”において羽柴秀吉の前に敗死した。
(光秀の一族のうち嫡流の明智光慶や光秀の従兄弟で娘婿であった明智秀満などの主だった者は、自害。)



